



医療機関の先生へ

- ・地域連携専用 : TEL **047-458-6543** / FAX **047-458-6545**
- ・受付時間 : 月～金 9:00～16:00 / 土 9:00～11:30
*日曜、祝日、毎月第3土曜日、12/5(創立記念日)、12/30～1/4(年末年始)はお休み
- ・診察は原則予約制ですので、必ず「紹介状」をご用意いただき事前に「予約」をお取りください。
- ・予約外の患者さんは予約患者さんの合間に診察となりますので、お待ちいただく場合がございます。
- ・紹介状をお持ちでない患者さんは、「初診時保険外併用療養費¥3,150」が自費でかかります。

電話予約センターについて

- ・専用電話番号 : **047-458-6600** (患者さん専用)
- ・受付時間 : 月～金 9:00～16:00 / 土 9:00～12:00
*日曜、祝日、毎月第3土曜日、12/5(創立記念日)、12/30～1/4(年末年始)はお休み
- ・予約時間等の変更時にも、必ず電話にてご連絡ください。

検査連携について

- ・検査連携は、医療機関からの依頼のみの受付になります。直接患者さんからの受付は出来ません。
- ・連携検査 : CT・MRI(単純)・RI・X-P(胸部)・マンモ・骨密度・セファロ の画像検査のみ。

やちよ夜間小児急病センターについて

- ・専用電話番号 : **047-458-6090** (医療相談は行っておりません)
- ・受付時間 : 365日 18:00～23:00
- ・事前の予約は必要ありませんので、直接ご来院ください。



編集後記



今年は暖かい春になり、桜の開花も早まりました。そんな中、皆がそれぞれ新しい年度を迎えています。八千代医療センターも伊藤先生がご勇退となり、寺井院長代行の下、新体制がスタートしています。今年度も新組織の下、より一層地域医療機関の皆様との「連携」を強化し、八千代医療センターとその医療支援室として地域の基幹病院に恥じない働きができるよう、努力してまいります。

本年度もよろしくお願いいたします。

医療支援室 地域医療連携 本藤 潤



2月28日、小児病棟にドラえもんが遊びに来てくれました。つらい入院生活ですが、この時間は皆笑顔で過ごせました。時間いっぱいまで遊んでくれたので、ご家族の皆さんにも楽しんでいただけました。フリーペーパーまいぶれ・TOHOシネマズ八千代緑ヶ丘の皆様、ご協力ありがとうございました。



□ ご意見・ご感想は、電子メール (renkei-j@tymc.twmu.ac.jp) または外来棟総合案内・入院棟総合案内前の『ご意見箱』へお気軽にお寄せください。お待ちしております！



平成21年4月
年2回 発行



ぐりーんず

東京女子医科大学
八千代医療センター
医療支援室発行

地域社会に信頼される病院としての心温まる医療と急性期・高機能・先進医療との調和

「 病院長代行就任挨拶

～ 地域の医療機関の皆様へ「Ren-K(連携)」のメッセージ 」

前任の伊藤達雄を引き継ぎ、東京女子医科大学八千代医療センターの病院管理者となりました。



病院長代行
寺井 勝

お蔭様で、当院は開院以来3度目の春を迎えました。

八千代医療センターの運営コンセプトは「Ren-K(連携)」です。病院と周辺医療機関や診療所との連携、市民との連携、そして院内における多職種医療、横断的医療、救急バックアップ体制など、すべて「Ren-K(連携)」のコンセプトのもとに成り立っています。

最大の特色は地域連携による新たな地域医療づくりです。同時に、わが国喫緊の医療行政課題であります救急医療(成人、小児)、周産期医療にも積極的に取り組んできました。

産科救急では、千葉県内の重症の母胎搬送を積極的に受け入れ、千葉県の総合周産期母子医療センターとしての機能を果たしてきました。また、小児医療も千葉県より小児医療連携拠点病院に指定されました。

さて、昨今の医師不足は当院も例外ではありません。とくに、総合救急診療科、産科、新生児科では慢性的な医師不足にあり、職員の疲弊を心配する声も聞こえています。そこで、4月より火曜日は一日、その他の曜日も総合・救急診療科の午後外来を閉鎖することに致しました。

現在、当院に予約外でこられる患者さんには、まずかかりつけ医を受診していただく「Ren-K(連携)」のコンセプトをご理解いただくようにご説明いたしております。また、成人救急では、夜間の急変患者をスムーズに受け入れられる救急システムを八千代市全体で取り組む当面の課題も見えてまいりました。

最後に、本年度も新たに研修医が8名入職いたしました。27名の応募者よりマッチした将来性豊かな若者です。当院の取り組みも広く全国に周知されるようになり、本学以外の学生見学もすでに今年は30名を超えました。研修医が評価する時代になって5年が経過しましたが、当院がマグネットホスピタルになるべくスタッフ一同努力してまいりたいと思っております。

今後とも宜しくご指導のほど、お願いいたします。



「TYMCからの大事なお知らせ」
3ページをご確認ください。



八千代医療センターは「急性期」に特化した
「地域連携型医療」Ren-Kを目指します。



副院長就任のあいさつ



副院長・麻酔科
佐藤 二郎

このたび、医療局担当の副院長職に指名されました。医療局は各科医師を主体とする、地域医師会の先生方とは特につながりの深い部局です。

過日の伊藤達雄前院長の退任パーティで、前八千代医師会長の杉岡昌明先生が「八千代医療センターは地域の医師会が積極的に誘致した日本でも屈指の総合病院である」と力説されておられたように、当初から八千代医療センターと医師会の良好な関係が築かれてきました。

これを端的に示すものとして、コンビニ化しつつあった本院の時間外内外科外来に疲弊した本院医師陣の窮状を医師会の先生方に相談したところ、30名以上の医師会の先生方が当院内での準夜帯の時間外外来に参加して頂けるとの快諾を得られたとのことでした。

国の時々の医療政策に踊らされるのではなく、八千代市の地域性（これは時と共に変遷するものでもあります）に合い、各施設が各々の長所を発揮できるような医療連携のあるべき姿を模索して行きたいと考えています。

私自身は麻酔科医であり医師会の先生方とは強いつながりはありませんが、よろしくご指導のほどお願い申し上げます。

今後とも八千代医療センターをよろしくお願いいたします。



副院長・眼科
船津 英陽

東京女子医大八千代医療センターは開院して2年半が経過しました。「地域社会に信頼される病院としての心温まる医療と急性期・高機能・先進医療との調和」を理念に掲げ、組織の立上げ、成長に一丸となって取り組んできました。

お陰さまで診療体制や病院全体のシステムは順調に整備されてきましたが、患者数の増加に伴い、医療安全の強化、周辺医療施設との間の「役割分担の明確化」、「診療方針の共有化」、「地域連携ネットワークの更なる強化」などが、今後の重要課題だと思っています。

また、当院では4月から“医療安全支援チーム”を立ち上げることになりました。本チームは、医師、看護師、薬剤師や検査技師などから構成されます。院内の医療安全、感染対策、医療支援、医療サービスなどに関する問題点を発見・共有し、適切な対策を講じるとともに、実際に効果が出ているか検証し評価します。

このような医療安全や医療サービスに対する職員の意識や認識も、さらに高めていきたいと思っています。

最先端の医療技術と知識を用いて、安全で質の高い医療を提供するためには、医師やコメディカルスタッフに対する高度な教育と、革新的なアイデアに基づくオリジナル研究の推進が不可欠です。

次のステップとして、教育や研究にも精力的に力を注ぎたいと考えています。各科の強みを生かした研究や、当院ならではの横断的研究を考案、推進していく予定です。

寺井院長代行、佐藤副院長とともに、八千代医療センターをさらに発展させていく所存です。

今後とも八千代医療センターをよろしくお願いいたします。



八千代医療センターは「急性期」に特化した「地域連携型医療」Ren-Kを目指します。



リレーエッセイ 診療科紹介 ～ 婦人科



婦人科
正岡 直樹

当科では、婦人科良性・悪性腫瘍、子宮脱、尿失禁、不妊治療、更年期障害、月経前緊張症などの内分泌疾患といったあらゆる領域の婦人科疾患に対応すべく、常勤、非常勤を含め6名の産婦人科専門医が診療に従事しています。

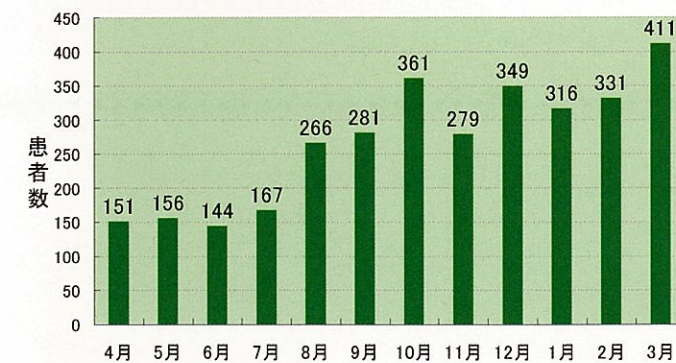
昨年7月よりスタッフの増加により、外来診療日を従来の週3日から5日に増設しましたが、予約が入りづらく、近隣の先生方にはご迷惑をおかけしていることと申します。幸い今春2名の後期研修医を迎えることができマンパワーも充実してまいりましたので、夜間の救急はもちろん更に受診しやすい体制を整えていきたいと思っております。

不妊治療に関しましては、体外受精は実施しておりませんが、その適応と診断した場合は、信頼できる実施機関にご紹介しております。また、現在は腹腔鏡手術も実施しておりませんが、今年度内には対応可能となる予定です。

当科外来は女性科と接しており、乳腺関係、痔、泌尿器、月経前緊張症、更年期障害などを担当しており、女性の健康全般にわたって協力できるという大変有利な環境にもあります。

今後も近隣の先生方との緊密な連携の下、当院が目標としている地域完結型の医療の一翼を担えるよう努力していく所存ですのでよろしくお力添えの程お願い申し上げます。

□婦人科患者数推移



□婦人科 主な手術実績

卵巣腫瘍切除術	34 件
腹式単純子宮全摘術	32 件
子宮脱根治手術	11 件
子宮筋腫核出術	9 件
悪性卵巣腫瘍手術	8 件
子宮腔部円錐切除術	7 件
子宮鏡、腹腔鏡下手術	7 件
腔式単純子宮全摘術	2 件
準広汎子宮全摘	1 件
子宮肉腫手術	1 件 など

※集計期間：平成20年7月～平成21年2月



TYMCからの大事なお知らせ



■総合救急診療科の午後診療の閉鎖について

- ・4月1日より当科医師の不足により、午後の診療を一時閉鎖します。
- ・「紹介状をお持ちでない」「緊急性のない患者さん」は、近医への受診を案内します。
- ・救急搬送については従来通りとなります。

■MRI機器の入替え工事に伴う、検査件数の一時減少について

- ・工事期間は、3月23日から5月23日（予定）となります。
- ・検査連携を受けるにあたり、予約が取りにくいなどご不便をおかけする場合がございます。
- ・緊急の場合は、地域連携担当にご相談ください。